

ユメノバ

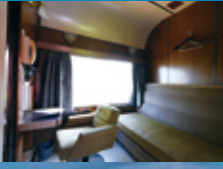
A new place for dreams

筑西市に広がる「ザ・ヒロサワ・シティ」は、創設者・廣澤清さんが50歳から描き始めた夢を、30年かけて育て上げた郷の姿です。約100万㎡の敷地には美術館や宿泊施設、教育機関、ゴルフ場、農園などが点在し、人々に「もうひとつの郷」を届けています。専門家に任せず社員と共に築いた独自の世界観は、道路や標識にまで息づいています。その中心のひとつが、2024年2月に誕生した「ユメノバ」。東京ドーム約1.2個分の敷地に、陸・海・空・宇宙をテーマに25以上の施設が集まる壮大な乗り物のテーマパークです。ここでは展示を見るだけでなく、技術者の挑戦の歴史を体感できます。多彩な分野のスタッフがその知恵と情熱を注ぎ、ユメノバは日々進化を続けています。

北斗星で旅気分を満喫

1988年から2015年まで上野～札幌間を走り続けた豪華寝台特急「北斗星」。引退後、車両は各地で保存や解体が進みましたが、ユメノバでは「本物を未来へ残す」という構想のもと、解体寸前だった車両の保存が実現しました。連結された、現役さながらの姿を体感できます。食堂車「グランシャリオ」の厨房設備やロビーカーのソファも残され、往年の旅の雰囲気をそのまま再現。

1号車・A寝台個室「ロイヤル」の個室内の空間



北斗星「貸切宿泊プラン」20万円^{税別}

最大48名が利用できる宿泊プランでは、4両の車両を貸し切りで利用可能であり、「ブルートレインに泊まる」当時の贅沢を体験できます。
※夕食・朝食は別料金



B寝台2人用個室「デュエット」

食堂車「グランシャリオ」



レールパーク

列車の響きに、旅の記憶が蘇る

新幹線車両、蒸気機関車D51、寝台特急「北斗星」、客車、電気機関車など、複数の鉄道車両が当時の状態を忠実に保ち、まるで今にも出発しそうな気配を漂わせています。使命を終えた実物の車両たちを集めることは様々な苦心があつたそうですが、鉄道ファンならずとも嬉しいのは、ただ見るだけではないところ！操縦席に入って運転士の視点を体験できるほか、北斗星の寝台車では宿泊も可能です。シートの感触、窓からの景色、車両の匂い——鉄道ファンをはじめ初めて体験する人たちの心を動かしています。

スタッフ 石川 知明さん

資料館でじっと見入ってしまう人、操縦席やアナウンスで楽しんでいる人、鉄道ファンの奥深い楽しみ方を感じます。



科博廣澤航空博物館

ゼロ戦からYS11へつながる空の歴史

約1,850㎡、高さ15mの格納庫を思わせるスケールに

ゼロ戦、戦後初の国産旅客機「YS-11」、南極観測に活躍したシコルスキー「S-58」など、空の歴史を物語る本物の機体が並んでいます。名称は国立科学博物館（科博）と創設者の廣澤清さんの名を組み

戦後初空への夢をかたちにした「YS-11」

戦後初の量産機の第一号という特別な存在です。戦後、日本の航空産業をもう一度立ち上げようと、多くの技術者が力を注いだ挑戦の象徴でもあります。「日本の機械遺産」や「重要航空遺産」「航空宇宙技術遺産」にも選定されています。



人力飛行機「日大式ストークB」

館内の天井から吊り下げられているのは、人力飛行機「日大式ストークB」です。1977年1月、2,093.9mを4分28秒で飛行し、当時の世界最高記録となりました。



数奇な運命をたどった零式艦上戦闘機「零式艦上戦闘機二型改」

展示されている零式艦上戦闘機二型改は、非常に珍しい複座仕様の機体です。太平洋戦争末期、ラバウル周辺の整備拠点で現地に残されていた部品をもとに、偵察任務向けへと改造されたものと考えられています。1945年、ランバート岬沖で被弾し海中に沈んでから1972年に引き揚げられオーストラリアで修復作業が施されました。日本に戻ってからは国立科学博物館で公開され、様々な整備を経て科博廣澤航空博物館で保存展示されています。機体には、損傷跡や、当時の応急措置の痕跡も残されており、時代の空気を今に伝えています。



鉄道模型・ゲーム館

茨城県最大級のスケールを誇る「鉄道模型・ゲーム館」では、筑波山からザ・ヒロサワ・シティまでを再現した迫力のHOゲージジオラマが楽しめます。窓の外に展示された本物の北斗星と、ジオラマ内を走るHOゲージの北斗星が重なり合う瞬間は圧巻。さらにNゲージ操縦体験では、新幹線E3系の運転席に座り、本物のコントローラーで速度を操る臨場感を満喫できます。



段ボール蒸気機関車館

実車は大正14年に川崎造船所兵庫工場で製造され、昭和40年12月に引退するまで約40年間、龍崎鉄道(現・関東鉄道竜ヶ崎線)で運行し旅客や貨物輸送を支えました。

「龍ヶ崎機関車推進協議会」提供



鉄道資料館

失われた鉄道の記憶を伝える貴重な展示館です。廃線駅の行き先標も展示され、地域鉄道の記憶と全国の廃線の歴史を一度に体感できる空間です。



ヘッドマークがずらり!

EF81形138号の車内には、全国で活躍した列車のヘッドマークがずらり。寝台特急や急行、観光列車の多彩なデザインを間近に見られます。



鉄道きっぷ館

昭和天皇在位50周年・60年記念切符や1993年の皇太子ご成婚記念切符など、時代を映す貴重な品々を展示しています。切符一枚から鉄道と社会の歩みを感じられる展示館です。

新幹線

東北新幹線「やまびこ」で使われたE2系車両が、廃車後にユメノバへ移設され、歴史的な乗り物を一堂に集めるレールパークの目玉ともなっています。テレビドラマ『ミステリと言う勿れ』では、この新幹線の座席が重要なワンシーンの舞台として使われ、撮影も約3日かけて長時間行われました。展示されている実物の車両内部にも入れるので、より深い感動を味わえるかもしれません。ユメノバは、そんな「物語と現実が交差する場所」でもあります。



宇宙館

きぼうがつなぐ技術と夢の記憶

地上400kmを秒速8kmで周回する国際宇宙ステーションに設けられた日本の実験棟を忠実に再現した試験機が15点以上並び、見学者は地上にいながら宇宙の最前線を体感できます。最大の魅力は内部に入れる「船内実験室」。宇宙飛行士が宇宙に行った時の研究に取り組みむ空間をそのまま体験でき、無機質なのにどこか温かみのある「働く宇宙」を感じられます。さらに船外ブラットフォームやロボットアーム、実際に宇宙へ運ばれた船外パレットも展示され、ISSを支える技術の全貌が一望できます。



船内実験室(試験用モデル)

ISS「きぼう」の内部を再現した実験室。実際に中へ入り、宇宙飛行士の視点で作業空間を体感できます。毛利衛さんが実際のミッションで使用する装置も紹介され、リアルな臨場感が広がります。



船外パレット(実物)



実際に宇宙へ運ばれたパレット。本物ならではの存在感で、ISSでの任務の重みを伝えます。

ロボットアーム(エンジニアリングモデル)

物資の移動や船外作業を担うアームの試験機。宇宙での「手」がどのように働くのか学べます。



専務 野口 稔夫さん

ものづくりの歴史は学校の授業でも学ぶ機会が少なく、鉄道は鉄道、航空は航空と別々に語られてきました。でも本日は一つの流れとして見えたり、体験できるほうが、もっと面白くなるのです。

合わせたもので2021年に両者が財団法人を設立し、航空収蔵品を移設展示したことから誕生しました。展示の前に立ち尽くし、機体を食いつくように見つめる来場者の姿が印象的。機体に込められた物語を追う眼差し——空への憧れと技術への敬意が交錯する強いエネルギーを感じる体験になることでしょう。



タロ、ジロ南極救出の感動の物語「シコルスキーS-58」

1959年、南極観測で置き去りになった樺太犬「タロ」と「ジロ」の救出作戦に使われたことで知られています。展示されているS-58は、その任務を担った実機です。



ミニカー館

(消防車5000台以上、救急車2000台以上!)

ミニカー館には5000台以上の精巧な模型が並び、鈴木さんは「展示できる場所を与えていただき、ようやく日の目を見た」と語り、来館者と喜びを分かち合っています。



じぶた号

—絵本の世界が現実!—

絵本『しょうぼうじどうしゃ じぶた』(福音館書店)で人気を博した消防車が実車として展示。実際に動かせるように整備されています! 絵本の「じぶた」とはジープを改造した車+子供の名前で名付けられました。



日本最古から戦時型まで、歴史を物語る車両群。展示物の中には、国内に現存する消防車で最古の万延元年(1860年)の馬引き蒸気ポンプ車があります。
T型フォードのクラシック消防ポンプ車、東京消防庁が空襲対策で大量配備した戦時型標準ポンプ車(トヨタ KB)など、往時を象徴する車両が並んでいます。

館長 鈴木靖幸さん

専門誌にコラムを連載したり、テレビ番組『開運! なんでも鑑定団』にも出演し自らレストアした消防車を披露するなど情熱と技術を兼ね備えた人物です。



赤色警光灯を自分の手で点灯させ、サイレンが一齐に鳴り出す瞬間は、まるで消防隊員になったような高揚感。



船の博物館

お弁当広げて、ぶかり舟遊び気分!

大型輸送物を陸路で搬入してきたユメノバの実績から、海をテーマに屋形船の導入も検討されたそうです。しかし幅が5mを超えるため道路輸送が困難という事であきらめしました。そこで選ばれたのが「釣り船」に大改造を施し、館内で食事や休憩ができる屋形船の空間を創造しました。エアコン完備で、夏も快適。食事もち込み自由のため、お手製のお弁当を持参して舟遊び気分を楽しむことができます。



スタッフ 中沢優子さん

舟遊びしているような感覚で、私も休日には家族で利用する大好きな場所です。



クラシックバイク博物館

1900年代の世界のバイクが個性を放って

44台の個性あふれるバイクからは、それぞれの時代が求めたフォルムが浮かび上がってきます。イタリアのドウカッティは「美と技術革新」を象徴し、映画『ローマの休日』で用された同型のベスパは、スクリーンの躍動感を呼び覚まし、ドイツ製のツェンダップは軍用車としての歴史を伝え、世界各国のデザインの違いを比べられるのも魅力。ただ並んでいるのではなく、それぞれの時代を生きたと伝えてくれる、わくわくする空間となっています。



スタッフ 今泉佳之さん

ホンダNSR250Rをワンオーナーで所有し、さらに自作の電動自転車で、試作機ながらユメノバの広い空間を最速で移動しているそうです。



今も動く希少価値の車がずらり

クラシックカー博物館

広い空間に欧米の名車から国産の希少車までが並ぶ圧巻の空間。その多くにはナンバープレートが付けられ、今もエンジンを始動して動作確認が行われています。定期的に磨かれた車体は艶やかで、大切に守られてきたか伝わります。中でも注目目は、国産初の前輪駆動小型車「筑波号」。1930年代に約130台のみ製造された幻の車で、「歴史遺産車」として登録されています。ロールスロイス(昭和天皇御料車と同型)は別の特別な空間に飾られています。もちろんエンジンもかかり、動かすことも可能です。かつて昭和天皇が乗った御料車と同じ型だと知ると、ただのクラシックカーではなく「歴史の証人」としての存在感に心を揺さぶられます。来館者は「自分が歴史の一場面に立ち会っている」ような感覚になります。



筑波号 1934年
750ccの国産小型車初の前輪駆動車です。



ロールスロイス「シルバーレイス」

1948年製のロールスロイス「シルバーレイス」は、戦後の最高級車として知られ、映画『007』や昭和天皇が乗られたモデルとしても有名です。



ロールスロイス・シルバーレイスやキャデラック・エルドラド、ボルボ・アマゾン、シトロエン2CV、さらにマツダT600やT2000などをはじめソーラーカーなど往年の車両がずらり。

ソーラーカー「FINE号」

World Solar Challenge 1996で全3024kmを63時間51分で完走し、特別賞を受賞した車両です。太陽光発電だけで大陸を横断した、挑戦の結晶をご覧ください。

スタッフ 枝守さん

枝守さんのメンテナンスでピカピカに磨かれた名車たち。展示されている車はどれも艶やかで、まるで新車のような輝きを放っています。



木の温もりにも包まれる勾配天井の大空間は、ランチやブレイクタイムでの利用がおススメです。関好明料理長は「父が寿司屋だった影響で寿司を覚え、自然と料理好きになった」と語ります。豊富なメニューは料理長自身が考案し、みんなに愛される食の提供にこだわっています。季節ごとに登場する新メニューもお楽しみください！

レストラン

乗り物巡りに疲れたら癒しの



人気ベスト3に入る、「佐野ラーメン」と「カツカレー」



メルちゃんと遊べる夢のアイランド

おまごと好きな子どもたちに大人気！ブロック遊びから着せ替えまで、楽しさいっぱい



メルちゃんアイランドは小さな子どもたちに大人気。たくさんメルちゃん人形やグッズが並び、おまごと好きな子どもたちには夢のような空間に。ブロックコーナーは積んで、壊して、また作る——無限の遊び場です。

スタッフ 大山雛さん

触って遊べるおもちゃがいっぱい全天候型の施設です。



いっしょに写真を撮ってネ♡



あそぼっ！アイランド

おもちゃ王国メルちゃんアイランドやシルバニアファミリーが待っています！

ユメノバ ー遊び・学び・感動をまるごと体験ー

茨城県筑西市 ザ・ヒロサワ・シティ
TEL. 0296-48-7417

【開 園】10:00～17:00 (最終入場: 16:30)

公式ウェブサイト



【定休日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日休園) ※休園日カレンダーは公式ウェブサイトへ

【料 金】(ユメノバ園料) ※10名以上の団体での入場は事前連絡が必要です。

大人 2,500円 / 高校生・大学生 1,000円 / 中学生 700円 / 5才以上 500円

お体が不自由な方 500円 (付添1名まで同額で入場可能)

5才未満団体 有料 (未就学児のみでの入場は不可)

【駐車場】無料

ルートガイド



ミニシアター・カラオケ館

バナナ園 / 収穫まで約2年。売店でも販売
恋人の聖地 / 二人の時間を
思い出に記念撮影スポット



梅園 / 梅の実は大丁寧に収穫されて梅干しに加工され販売
熱帯植物園 / バナナやヤシに囲まれてジャングル探検

他にもたくさんの施設・スタッフが
皆さんをお待ちしております！



PRESENT
読者プレゼント

ー陸・海・空・宇宙のテーマパーク ユメノバー

ユメノバ「ペア入場券(大人用)」3組様 および「オリジナルクリアファイル」3枚セットを3名様にプレゼント！

詳しくは10ページへ